



## 合同国際会議

第1回医療安全心理行動学会(1SPBH)、  
第11回世界臨床安全会議(11WCCS)

--- 医療安全の新世界への旅---

オンデマンド期間: 2024年4月1日~5月31日

参加申し込みサイト: <https://forms.gle/jXBtPyzdbcfTvH2J8>

参加申し込み締め切り: 24年5月25日

会場開催: 2024年3月16日(土)~17日(日)  
東京大学メディカルキャンパス

## 会議要項

主催

国際医療リスクマネジメント学会 (IARMM)

後援

国際医療安全推進機構 (MSPO)

医療安全心理・行動学会 (MSSPB)

日本医療安全推進学会 (JSMSP)  
MSPO 健康安全国際研究所 (HSI)  
MSPO 医療安全推進高等教育院 (HEPMSP)

# 目次

参加方法	p3
登録方法	p4
ご挨拶	p5
開催地情報	p6
主な主催者	p7
交通・地図	p8
食事	p9
日程表	p10
口頭発表のマナー（現地参加）	p11
口頭発表マナー（ウェビナー：リモートアクセス）	p12
口頭発表のマナー（録画ビデオ）	p13
ポスター発表マナー	p14
論文投稿	p15
プログラム	p16

-----連絡先-----

国際医療リスクマネジメント学会  
(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102  
(TEL) 03-3817-6770 (FAX) 03-6801-6987  
(email) [manager@iarmm.org](mailto:manager@iarmm.org)

-----

## 3 種類の参加方法

### (タイプ A) In person: 会場参加

行内では無料 WI-FI もご利用いただけます。 Wi-Fi 接続方法

- 1.Wi-Fi 接続画面で「UTokyo-Guest」を選択し、接続します。その後、URL にリダイレクトされます。電話番号またはメールアドレスを入力します。
- 2.ご登録のメールアドレスまたは電話番号に、ログインページの URL が送信されます。
- 3.ログインページでメールアドレスとパスワードを入力し、ログインしてインターネットを利用する。
- 4.初回ログイン時に、性別や年齢などの属性情報の入力を求められます。2 回目以降は入力の必要はありません。

### (タイプ B) Webinar: 生配信の視聴

口頭発表の様子はインターネットライブ中継されるため、遠隔地でも見ることができる。

この場合、PC ソフト「ZOOM」 <https://zoom.us/> を使用する必要があります。使用される際には事前に連絡してください。利用方法をお教えします。

東京との時差に注目してください。

ライブアクセスが難しい場合は、タイプ C の「オンデマンド視聴」を利用できます。

ポスター発表の様子は特設サイトでご覧いただけます。発表者の解説を収録したショートムービーも特設サイトでご覧いただけます。

### (タイプ C) On-demand:録画視聴。

期間：2024 年 4 月 1 日から 2024 年 4 月 31 日まで

インターネットの特設サイトにて、口頭発表・ポスター発表の mp4 動画を再生可能な動画ソフトでご覧いただけます。

会議後に、登録者全員に特設サイトの URL を通知します。

## 参加登録方法

登録(2024年3月10日まで)	価格	価格	価格
	国際医療リスクマネージメント学会 会員/ 医療安全指導員研 修生	医療安全心理・行動学会 会員 / 日本医療安全推 進学会会員 / MSPO 教育 院学生	その他
2日間参加(価格は非課税です。)	1万8千円	2万3千円	2万4千円

ガラ・ディナーは2024年3月16日18:30~20:00、上野公園内の料亭にて開催。参加費は9千円。

(演題が採択された発表者) 2024年1月10日から2024年2月10日まで

(登録方法)： インターネットバンキング (PayPal)、銀行振込からお選びいただけます：  
[http://www.iarmm.org/1SPBH/Pay\\_JP/](http://www.iarmm.org/1SPBH/Pay_JP/)

\*講演収録集集(電子版)は、特設ウェブサイトで全代表者に配信される。  
 講演抄録集(印刷版)は発売されない。

\*参加費には印刷物(電子版プロシーディングス、ジャーナル等)が含まれます。食事代は含まれません。

登録期間は2024年3月11日から15日まで中止します。

現地登録(2024年3月16日~17日)	価格
2日間の参加(価格は非課税です。)	3万円

## ご挨拶

この度、10年以上にわたり開催してまいりました「臨床安全世界会議」とともに、世界初となる「医療安全心理・行動国際会議」を合同開催する運びとなりました。

本国際会議では、より良い医療安全文化の創造について、心理・行動面を含めた様々な観点から総合的に議論します。対象は、患者安全、医療従事者安全、医薬品安全、医療機器安全、感染症対策、災害医療における心理・行動問題など。

会議終了後、録画映像のオンデマンド視聴にも参加できます。

全国的に桜の開花時期でもあり、イベントもお楽しみください。

敬具

国際医療リスクマネジメント協会 (IARMM)

国際医療安全推進機構 (MSPO)

医療安全心理・行動学会 (MSSPB)

日本医療安全推進学会 (JSMSP)

MSPO 健康安全国際研究所 (HIS)

MSPO 医療安全推進高等教育院 (HEPMSP)

(公用語) 英語、日本語。

# 会場情報など

東京大学本郷メディカルキャンパス、  
東京都文京区本郷 7-3-1  
電話：03-3812-2111  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/about.html>

## (実験研究棟) 51号 地図はこちら

受付	鉄門記念講堂ホワイエ	14階
A会場 (ご挨拶・基調講演)	鉄門記念講堂	14階
B会場 (ポスター発表)	鉄門記念講堂ホワイエ	14階
C会場 (パネルディスカッション)	第5セミナー室	13階
D会場 (シンポジウム&パネルディスカッション)	第6セミナー室	13階
E会場 (パネルディスカッション)	第7セミナー室	13階
F会場 (講師控室)	第8セミナー室	13階

本郷キャンパス <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400020145.pdf>

メディカル・キャンパス in 本郷キャンパス <https://www.m.u-tokyo.ac.jp/english/information/map.html>

(当日受付)

現地受付開始時間：2024年3月16日 8:30～17:00

現地受付開始時間：2024年3月17日 8:30～17:00

(ポスター)

各ポスターの掲示時間は 11:00～14:00。

3月16日 (ポスター討論：12:30～13:30)

3月17日 (ポスター討論：12:30～13:30)

ポスター発表者は 14:00 までにポスターを撤収してください。そうでない場合ポスターはお預かりできません。

すべての参加者は、上記の開始時間に会場内の14階受付で登録を行ってください。

ネームカード、参加証明書： お持ちください。

- なお、2024年3月16日以前の現地受付は行っていません。
- **大会期間中、ネームカードをお掛けください。**

インターネットによる抄録集は登録された代表者に配布されます。大会会場では無料 WIFI サービスを提供しており、大会期間中、すべての抄録集をインターネットで閲覧することができます。

## 主な主催者

### (国際組織委員会)

会長酒井良二 (IARMM & MSPO 会長。医学博士。SU 名誉教授。TWU、EPFL、USM など、東京、日本)  
Tejal Gandhi (MD Press Ganey Associates。全米患者安全財団元会長/CEO。米国ボストン)  
モーリー・ドロード (南オーストラリア大学教授)  
ヴォルフガング・ガイスマイアー (Prof. PhD.社会心理学・意思決定科学、コンスタンツ大学、ドイツ)  
ヨブ・ハーレンベルク (元 2・4WCCS 共同会長、ドイツ・ハイデルベルク・ルプレヒト・カールス大学医学部教授ハイデルベルク大学、ドイツ)  
マリア・アンヘレス・クアドラド・センズアル (Prof. Dr. Med.ホスピタル・クリニコ・サンカルロス、医学部。マドリッドスペイン)  
ヘルダ・ピンソン=ベレス (カリフォルニア州立大学フレズノ校教授、感染症、サンフランシスコ、米国)  
アレン・J・ヴァイダ (米国ペンシルベニア州、The Institute for Safe Medication Practice エグゼクティブ・バイスプレジデント)  
ナタリー・ド・マルセリス=ワリン (モンリオール工科大学教授、CIRANO 社長兼最高経営責任者、カナダ)  
ビヨルン・ブリュッヒャー (米国バージニア州ボン・セクール癌研究所外科学教授)  
ピーター・マッカロク (オックスフォード大学、外科教授、英国)  
ランガー・ロフステット (キングス・コレッジ・ロンドン教授、英国) /  
ブライオニー・ディー・フランクリン (英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン薬学部教授、医薬品安全博士)  
イアン・カレン学部長 (英国、ロンドン大学クイーン・メアリー校、NHS ヘルス・エデュケーション・イングランド教授)  
ウヴォ・M・ホーエルシャー (ミュンスター大学教授、ヒューマンファクター、ドイツ)  
ボニー・ポートノイ (米国ニューヨーク州マウントサイナイ・ヘルスシステム リスクマネージメント・患者安全担当副会長)  
エンリク・マカルラ (バルセロナ自治大学外科学教授。イグアラダ病院、イグアラダ、バルセロナ、スペイン)  
ノルベルト・パティスキ (ウィーン大学教授、オーストリア、ウィーン)  
スミリャ・トウザロヴァ・ギョルゴヴァ (マケドニア、聖キリル・メトディオス医科大学 (外科) 教授)  
ピラール・エスコラール (EUSES 大学教授、タラゴナ、スペイン)  
I ジャネット・ブラウンリー (カナダ、オタワ大学看護学教授)  
ステイブ・グリーン (シェフィールド・ハラム大学教授、英国)  
エレナ・イワノヴナ・リャプチコワ (ロシア科学アカデミー教授、医学博士)  
ディー・ファーマー (EIGA 教授、英国)  
ディートマー・アウサーホーファー (バーゼル大学、スイス)  
エリック・ブーン (ハーバード大学医学部元准教授、薬物安全性、米国)  
ミレンコ・タナシエヴィッチ (ハーバード大学医学部元准教授、外科、ボストン、米国)  
メイ C. M. ピアン・スミス (ハーバード大学医学部准教授、外科、ボストン、米国)  
ヘイサム・カーファラニ (ハーバード大学助教授、医学博士、外科、ボストン、米国)  
レベッカ・ハウゼン (ロチェスター大学、米国ニューヨーク州)  
コスマ・ロシヤ・モニカ (スイス、ヴォーワ大学病院)  
マチュー・コロム (リオン大学、フランス)  
エルス・ファン・デル・ウィルデン・ファン・リエ (MD.元グローバルオフィス、オランダ)  
ギュラー・デミルバス・ウゼン (国際原子力機関、オーストリア、ザイバースドルフ)  
Ahmad Elsheikh (サウジアラビア内務省マッカ品質・患者安全部長 (患者安全担当))  
アマンダ・ステーション (エッセンシャルケアアドバイザー、英国)  
メアリー・P・タリー (マンチェスター大学、英国)  
ショナ・マッキン (英国、ロンドン、キングジョージ病院)  
マリナ・カルバル (ボルトガル、ピラ・フランカ・デ・キシラ病院)  
ディナ・バルーディ (M・S・バシヤラヒル病院、サウジアラビア)  
アルトゥール・チェルミツキ (ワイン醸造専門家、ポーランド)  
ムスタファ・アタック (レッドスター・アビエーション CEO、トルコ)  
ケル・アンダーソン (IARMM ヨーロッパ大会元会長、スウェーデン)  
リーナ・タミネン・ペーター (フィンランド、Oy Ergosolutions BC Ab、労働衛生人間工学博士)  
Marcel Westerlund (スウェーデン、ヴェクショー中央病院)  
ルスリ・B・ノルディン (IARMM アジア大会前会長、マレーシア、教授・議長)  
アレクサンダー・ビゾヴァロフ (IARMM ウクライナ協会会長、ウクライナ、教授・学部長)  
ホス・A・ドウラット (ファーマバイオ・コンサルティング、英国副社長) /  
モハメド・エルファイオミー (サウジアラビア保健省)  
クラウド・メゲール (英ハートフォードシャー大学タリーフ・アル・アマエ准教授)  
リンダ・ケアンズ (EPP CIC、英国) /レベット・ラム (地域患者安全アドバイザー、英国)  
Aurelian UDRISTOIU (ルーマニア、タルグジュ・ウルジェンタ病院)  
リチャード・エアーズ (ドクター・フォスター・インテリジェンスの EMEA グローバルコンパレータ。)  
イッサム・エル・アムリ (医学博士。チュニジア医療過誤被害者支援協会会長、チュニジア)  
Drshwetha Akshaya (ハマド・メディカル・コーポレーション、カタール、アシスタント・エグゼクティブ・ディレクター)  
ジョアン・サントス=ルーカス (ノースカロライナ大学医学博士、シンガポール)  
リム・マブルーク (ダマンフル大学看護学部、エジプト) / シュウメン・ダッタ (元 MIT、米国)  
アバイ・チョパダ (BMI クレメンタイン・チャーチル病院、米国)

### (日本側ホスト)

横倉義武 (元世界医師会会長、MSPO 顧問) / 高本真一 (東京大学名誉教授、MSPO 顧問)  
深山正久 (東京大学名誉教授、MSPO 顧問) / 許 俊英 (元東京大学教授、MSP 顧問)  
四柳 宏 (東大医科学研究所前病院長、教授) / 土井健人 (東京大学医学部附属病院救急科教授)  
下田 宏 (京都大学教授、ヒューマンファクター、京都) / 藤井 聡 (京都大学教授、レジリエンス、京都)  
大谷壽一 (慶應義塾大学教授、薬理学、東京) / 竹村和久 (早稲田大学、心理学、東京)  
中田光紀 (国際医療福祉大学教授・学部長、心理学、東京) / 篠原一光 (大阪大学教授、心理学、大阪)  
藤田真幸 (慶應義塾大学法医学教室教授、東京) / 中西美和 (慶應義塾大学教授、ヒューマンファクター、東京)  
山口博之 (九州大学教授、産業心理学、福岡) / 浅井 篤 (東北大学病院教授・医学博士) / 石井 正 (東北大学病院教授・医学博士)  
河内正治 (帝京大学医療安全教授、東京) / 永山正雄 (国際医療福祉大学教授、神経内科、東京)  
その他



# 食事

## 昼食 & コーヒーブレイク

大学メインレストラン



<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400020145.pdf>

第4位 中央食堂

## 懇親会



場所 韻松亭

歴史的日本料理

住所 東京都台東区上野公園 4-59

アクセス 東京大学本郷キャンパスからタクシーで10分

URL : <https://www.innsyoutei.jp/en/>

日時 : 2024年3月16日 18:30-20:00

# 日程表

2024年3月16日		
	8:30-12:00	13:00-17:00
ホワイエ	受付	受付
スペースA	ご挨拶、プレミアム講演	国際行政機関講演、基調講演、他
スペースB	ポスター展示	ポスター展示
スペースC		パネルディスカッション
スペースD		シンポジウム&パネルディスカッション
スペースE		パネルディスカッション
スペースF	講師控室	講師控室

ポスター展示 11:00-14:00  
ポスター討論：12:30-13:30

2024年3月17日		
	8:30-12:00	13:00-17:00
ホワイエ	受付	受付
スペースA	プレミアム講演、基調講演	基調講演
スペースB	ポスター展示	ポスター展示
スペースC	×	×
スペースD	パネルディスカッション	パネルディスカッション
スペースE	パネルディスカッション	パネルディスカッション
スペースF	講師控室	講師控室

ポスター展示 11:00-14:00  
ポスター討論：12:30-13:30

## 口頭発表の方法（会場ライブ）

(場所) A 会場～E 会場(B 会場を除く)

プレゼンは PC 放送ソフト ZOOM でリリースされます。このソフトは私たちの PC にプリインストールされています。ご自身で持参した PC は利用できません。

1) 会議場では、MS Windows 11 と MS-Office ソフトウェアを搭載した PC を 1 台ご利用いただけます。

スクリーン 1 台とマイク 1 本が用意されます。

2) 発表時間の 30 分前までに、パワーポイント資料と USB チップをご持参ください。

3) PC オペレーターが USB チップを PC にセットし、PC ソフトを操作します。

4) 発表時間は合計 15 分です。

時間配分は次のようにしてください。

最初の 1 分間は PC 操作。

後半の 12 分間は口頭発表の時間です。

3 番目は 1 分間のディスカッション。

PC 操作のための最後の 1 分間。

## 口頭発表の方法（ウェビナー：生配信）

口頭発表の様子はインターネット中継されるため、世界各地のどこからでも会場のスクリーンで口頭発表を映写します。

この場合、ウェブカメラ、マイク、MS-PowerPoint、PC 放映ソフト「ZOOM」を使用してください。

<https://zoom.us/>

リモート接続の Zoom URL の URL をお教えします。

東京との時差に注目してください。

生中継が難しい場合は、タイプ C の「オンデマンド配信」をご利用ください。

## 口頭発表の方法（録画配信）

発表者が録画済みビデオの公開を希望する場合は、指定された締切日までにインターネット上の指定 CLOUD に期限内に提出してください。 (PW=manager@iar~~mm~~.org)

CLOUD の URL、締切日が必要な場合は下記にお問い合わせください。

[manager@iar~~mm~~.org](mailto:manager@iar<del>mm</del>.org)

# ポスター発表の方法

(ポスター展示場所) B会場

(ポスター展示)

ピンはご自分で持参ください。  
あなたのアブストラクト番号はパネルボードに表示されます。

ポスター発表者は 14:00 までにポスターを撤収してください。そうでない場合、ポスターはお預かりできません。

ポスター発表者は、以下の要領でポスター討論を行ってください。

(ポスター討論時間) 12:30～13:30

ポスター発表者は、指定されたポスターディスカッションの時間帯に、ポスターの横で参加者とディスカッションしてください。海外からの対話では、スマホの自動翻訳ソフトが便利です。

(ポスターサイズ)



発表者の解説を収録動画の特設サイトでもご覧いただけます。

## 論文投稿

発表者は2024年版の学会機関誌（Journal of Medical Safety; JMS）に投稿できます。

<http://www.iarmm.org/JMS/>

**提出期間 2024年4月15日**

論文投稿の方法

[http://www.iarmm.org/1SPBH/INSTRUCTIONS\\_FOR\\_AUTHORS.pdf](http://www.iarmm.org/1SPBH/INSTRUCTIONS_FOR_AUTHORS.pdf)

# プログラム

【同時開催日本語プログラム】

24年3月17日(日) D会場

医療安全心理・行動学会「医療安全指導員研修会・実習コース」

<http://www.iarmm.org/1SPBH/opt02.pdf>

【国際合同会議プログラムは次のページから掲載】

(参加方法) 来場

PC ライブ放送

PC オンデマンド(録画視聴: 2024年4月1日~4月30日)

これらを組み合わせてもご利用いただけます。

## プログラム内容

ご挨拶	5人 (予定1名を含む)
プレミアム講演	
各種団体:	5題
国際行政機関:	2題
基調講演	
(1) 安全の哲学:	3題
(2) 学際セッション:	2題
(3) 臨床安全セッション:	5題
(4) ヒューマンファクターズ:	2題
(5) 心理・行動セッション①:	4題
(6) 心理・行動セッション②:	4題
シンポジウム: 意思決定と医療安全	
パネル討論会	
(1) 安全心理・安全行動による医療機関の安全推進	
(2) 臨床リスクと安全	
(3) 患者安全および医療者安全のための教育	
(4) e-ヘルスと医療機関の安全推進	
(5) 医療危機管理シミュレーション教育: 事故後病変の管理	
(6) 医療安全とコミュニケーション	
(7) 医薬品適正使用の地域ネットワーク	
(8) 感染症のリスクマネジメント	
ポスター発表(1)	
ポスター発表(2)	

ご挨拶

3月16日

A会場

司会:  
大谷壽一 教授 (慶應義塾大学医学部教授)

**9:30-9:40 (GR01)**

開会式

**9:45-9:55 (GR02)**



アレン・バイダ

IARMM・MSPO 国際顧問. MSPO 客員教授、医薬品適用使用研究所前上級副所長. 元米国 FDA 医薬品委員会顧問

**10:00-10:10 (GR03)**



田中栄

東京大学病院病院長

たなか 栄  
病院長 田中 栄

**10:15-10:25 (GR04)**



松本吉郎

日本医師会会長

**10:30-10:40 (GR05)**



武田泰生

日本病院薬剤師会会長

プレミアム講演

3月16日～17日

A会場

## 3月16日、A会場

司会: Strametz Reinhard 教授 (RheinMain UAS, ドイツ)

大谷壽一教授 (慶應義塾大学医学部教授)

### 10:45-11:25 (PL01)

#### 文献配信

行動アプローチによる労働災害防止  
日本政府規制報告書

### 11:30-12:00 (PL02)



#### 追悼記念講演

門田守人 (故)

前 MSPO 国際顧問

前日本医学会会長

## 3月17日、A会場

司会: Strametz Reinhard 教授 (RheinMain UAS, ドイツ)

大谷壽一教授 (慶應義塾大学医学部教授)

### 9:10-9:50 (PL03)



ジェームズ・リーズン

マンチェスター大学心理学名誉教授、英国

### 9:55-10:10 (PL04)



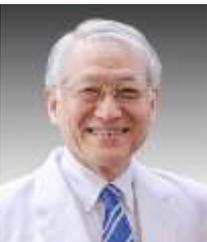
医療の安全に向けた日本医師会のこれまでの取り組み

横倉義武

MSPO 国際顧問. 元世界医師会会長、

元日本医師会会長

### 10:15-10:30 (PL05)



患者中心の医療

高本 眞一

MSPO 顧問、次期座長、東京大学名誉教授、日本心臓血管外科学会名誉会長

# 国際行政機関

3月16日 A会場

司会: **Strametz Reinhard** 教授 (RheinMain UAS, ドイツ)  
四柳 宏 教授 (東京大学医科学附属研究所附属前病院長)

13:30-14:10 (IOG01)



PARIS survey of people living with chronic conditions  
慢性疾患患者を対象とした PARIS 調査

Michael van den Berg

経済協力開発機構健康部 PaRIS 国際部、パリ

14:15-14:55 (IOG02)



Addressing inequalities in healthcare Safety

医療安全における不平等について

Rajat Khosl

国連大学グローバルヘルス研究所所長、クアラルンプール

# 基調講演

3月16日～17日

A会場

# 安全の哲学

(3月16日) A会場

司会 竹村和久教授 (早稲田大)

15:00-15:20 (KA01)



## Limit of Science --- another world of safety

科学の限界 --- 安全の別の世界

酒井亮二 (本合同会議代表、IARMM・MSPO 理事長、医療安全心理・行動学会理事長、日本予防医学リスクマネジメント学会創設理事長(10年)、日本医療安全学会創設理事長(7年)・名誉フェロー、患者・家族メンタル支援学会創設理事長(1年)、日本行動医学会設立理事(6年)、日本疫学会設立提案者)

15:25-16:05 (KA02)



## Beyond AI --- by pharmacotherapy aspect

AI を超えて --- 薬物治療の立場から

大谷壽一 (MSPO 特別上級会員。慶應義塾大学医学部教授、薬剤部長)

16:10-16:50 (KA03) キャンセル

## 学際セッション

3月17日 C会場

司会:

大澤資樹教授 (東海大学医学部教授)

**13:30-14:10 (KA04)**



### **Wellbeing --- new goal of healthcare safety**

福祉 医療安全の新しい課題

酒井亮二 (本合同会議代表、IARMM・MSPO 理事長、医療安全心理・行動学会理事長、日本予防医学リスクマネジメント学会創設理事長(10年)、日本医療安全学会創設理事長(7年)・名誉フェロー、患者・家族メンタル支援学会創設理事長(1年)、日本行動医学会設立理事(6年)、日本疫学会設立提案者)

**14:15-14:55 (KA05)**



### **Patient Safety Promotion Based on Patient Centered Care - Toward understanding the consumer decision-making process**

患者中心の医療による患者安全推進 --- 顧客の意思決定過程の理解のために

井出野 尚 (東京理科大学経営学部教授)

# 臨床安全セッション

3月16日、D会場

司会:

工藤 篤教授 (東京医科歯科大学医療安全管理部教授)

**13:30-14:10(KA06)**



## Patient safety and quality improvement in the ICU: Recommendations from the Japanese Society of Intensive Care Medicine

ICUでの患者安全と質向上:日本集中医学会の勧告

土井研人 (MSPO 国際常任理事、日本医療安全推進学会常任理事、東大病院救急救命科教授)

**14:15-14:55(KA07)**



## Project RED (ReEngineered Discharge)

The Standard of Care in Transitions of Care

医療施設から家庭への患者移転での安全性プロジェクト

Irving Stackpole

(President of Stackpole & Associates, Inc, USA)

**15:00-15:30 (KA08)**



## Medical Accident Survey and Investigation System in Japan

日本における医療事故・有害事象の情報収集・調査制度

藤田真幸 (IARMM 副理事長・MSPO 国際理事、日本医療安全推進学会常任理事、慶応大学医学部法医学教授)

**15:35-16:15 (KA09)**



## Healthcare Safe Management for Mega-Disaster (tentative title)

巨大災害に対する安全な医療管理

大友康裕 (MSPO 客員教授、国立災害医療センター病院長、東京医科歯科大学名誉教授)

**16:20-17:00 (KA10)**



## Patient Safety Promotion with Resilience

レジリエンスによる患者安全推進

中村京太 (横浜市市立大学医療センター教授)

(ヒューマンファクターズ・セッション)

3月17日 C会場

司会

中田光紀 教授・学部長 (国際医療福祉大学福祉・心理学部)

10:40-11:20 (KA11)



Traffic Psychology: Human Science for Traffic Safety

交通心理学：交通安全のための人間科学

篠原一光 (大阪大学心理学教授、医療安全心理・行動学会特別会員、  
第2回医療安全心理・行動学会学術総会共同総会長代表)

11:25-12:05 (KA12)



Human Error in Machine Operation and its Countermeasures

機械操作におけるヒューマンエラーとその対策

下田宏 (MSPO 国際研究所上席顧問、京大工学部ヒューマンファクターズ教授)

# 心理・行動セッション(1)

16 March 2024, C 会場

司会

中田光紀 教授・学部長 (国際医療福祉大学福祉・心理学部)

13:30-14:10 (KA13)



## Behavior Analysis for Patient Safety Promotion

患者安全推進のための行動分析

飛田伊都子(MSPO 国際理事、医療安全心理・行動学会理事、大阪医科薬科大学看護学部教授)

14:15-14:55 (KA14)



## Psychosocial Safety Climate in Healthcare Sector

医療機関における心理的安定性の風土

Maureen Dollard

マウレーン・ドナルド (南オーストラリア大学教授、英国ノッティンガム大学教授)

15:00-15:40 (KA15)



## Medical Ethics, Our Psychocultural-Social Tendencies, and Patient Safety

医療倫理、私たちの心理文化・社会的傾向と患者安全

浅井篤(MSPO 国際理事、医療安全心理・行動学会常任理事、東北大学医学部医療倫理教授)

15:45-16:05 (KA16)



## Significance of apology when an adverse event occurs

有害事象発生時の謝罪の意義

和田仁孝

早稲田大学大学院法務研究科教授

## 心理・行動セッション(2)

3月17日、A会場

司会: 工藤 篤教授 (東京医科歯科大学医療安全管理部教授)

13:30-14:10 (KA17)



### When Emotion Trumps Evidence: Challenges for the Public Understanding of Risk

感情が証拠に勝るとき: 大衆のリスク理解のための挑戦

テオルガング・ガイセメア

Wolfgang Gaissmaier (独コンスタンツ大学社会心理学教授)

14:15-14:55 (KA18)



### How Organizations Make Decisions

組織はいかにして決定するか

竹村和久(IARMM 理事・MSPO 国際常任理事、医療安全心理・行動学会常任理事、早稲田大学心理学教授)

15:00-15:50 (KA19)



### Risk Communication of COVID-19 and Associated Problems

COVID-19 のリスクコミュニケーションとその問題点

四柳宏 (MSPO 国際理事、日本医療安全推進学会理事長、日本感染症学会理事長、東京大学医科学研究所付属病院前病院長)

15:55-16:35 (KA20)



### How are Work Stress And Sleep Behavior Related to Occupational Safety And Health

職義ストレスと睡眠行動が職業安全と健康にいかに関与するか

中田光紀 (MSPO 副理事長、医療安全心理・行動学会常任理事、国際医療福祉大学 福利・心理学部学部長、教授)

# シンポジウム

3月17日、C会場

15:15-16:45

## Decision Making, Behavior, and Patient Safety

意思決定、行動、そして患者安全

(SP)



座長: 竹村和久(IARMM・MSPO 国際常任理事, 医療安全心理・行動学会常任理事、早稲田大学心理学教授)

(SP01)

### How well do doctors know and understand clinical evidence? Illustrations from decision making about cancer

医師は臨床証拠をどのようにしてより良く理解するのか? がんの意思決定からの提示

テオルガング・ガイセメア (独コンスタンツ大学社会心理学教授)

(SP02)

### Interplay of Expertise, Risk Evaluation, and Probability Information in Decision-Making for Medical Images

医療画像処理における経験の動的つながり、リスク評価および確率情報

Cheng-Ta, Yang, 台北大学高等研究所医療のヒューマンティージャー教授、台湾

(SP03)

### Basic Strategies for Risk Management to Minimize Total Damage due to COVID-19

COVID-19によるダメージを最小化するリスクマネジメントの基本戦略

藤井聡 (MSPO 国際常任理事、医療安全心理・行動学会特別会員、京大工学部レジリエンスセンター長、教授)

## パネル討論会

3月16日～17日

E会場、F会場

各演題の持ち時間(15分)には2分間の質疑時間がありますので、パネルごとの総合討論は行いません。

(PD01) Safety Psychology & Safety Behavior for Healthcare Safety Promotion

安全心理・安全行動による医療機関の安全推進

3月16日午後、D会場

座長: Reinhard Strametz 教授 (RheinMain UAS, ドイツ)

小田克彦教授 (東北大学)

Prof. Cândida Loureiro 教授 (Nursing School of Coimbra (ESEnfC), ポルトガル)

13:30-13:45 (PD01-01)

Economic Value of Peer Support Programms in Healthcare

医療におけるピアサポート(同僚支援)の経済的価値

Strametz Reinhard, Klemm Victoria, Roesner Hannah, Neusius Thomas

経済と患者安全のワイエスバーデン研究所、ワイエスバーデン、ドイツ

13:46-14:00 (PD01-02)

Survey of Medical Practitioners' Awareness of Medical Safety in Image Diagnosis

画像診断に於ける医療安全に対する一般開業医の意識調査

Jun Uehara\*, Akira Chikamoto\*\*

\* MSPO 医療安全高等教育院、川越救急クリニック。 \*\* 熊本大学病院医療の質・安全部)

14:01-14:15 (PD01-03)

Reforming Medical Personnel Awareness and Biomonitoring during Sedated Transesophageal Echocardiography (TEE) to Reassure Examiners and Ensure Patient Safety

鎮静下経食道心エコー (TEE) における医療従事者の意識改革とバイオモニタリングによる検査者の安心と患者の安全確保

江口明世 1)2)、高橋敬子 1)2)、笹沼直樹 1)3)、真鍋恵理 2)、関庚徳 2)、石原正治 2)

1) 兵庫医科大学 医学部 医療クオリティマネジメント学

: 2) 兵庫医科大学 医学部 循環器・腎透析内科学

3) 兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

14:16-14:30 (PD01-04)

A Quality Improvement Project Focused On Providing Patient-Centered Care by utilizing Patient Satisfaction Index

患者満足度指標による患者中心の医療に対する質改善プロジェクト

Duaa Javaid, Zehra Habib, Dr. Yumna Ahmed, Amna Ahmed, Karishma Iqbal

Usman Memorial Hospital, Karachi, パキスタン

つづく

つづき

(PD01) Safety Psychology & Safety Behavior for Healthcare Safety Promotion

安全心理・安全行動による医療機関の安全推進

3月16日午後、D会場

座長: Reinhard Strametz 教授 (RheinMain UAS, ドイツ)

小田克彦教授 (東北大学)

Prof. Cândida Loureiro 教授 (Nursing School of Coimbra (ESEnC), ポルトガル)

14:31-14:45 (PD01-05)

Working hours and suicidal ideation among healthcare workers in Japan: a comparison with occupations

日本の医療従事者の労働時間と自殺念慮：職種との比較

Kazuki Kikunaga, Akinori Nakata, Tuskumi Tondokoro, Nobutada Yokouchi, Yukiko Inoue

国際医療福祉大学

14:46-15:00 (PD01-06)

A review of accident cases related to instrumentation in operating rooms in Japan and future issues

日本国内における手術室内での器械出し行為に関連する事故事例の検討と今後の課題

池田尚人 迫田典子

東京医療学院大学/

15:01-15:15 (PD01-07)

Misinformation measures are a management goal of medical patient safety.

ミスインフォメーション対策は医療患者安全の管理目標

星 真哉

The Izumi Home care clinic、東京

15:16-15:30 (PD01-08)

Empathy reduction and verbal overshadowing effect in medical students: A study in clinical practice.

医学生の共感低減と言語隠蔽効果：臨床実習における検討

安心院康彦 1, 3、立澤直子 2、佐川俊世 2、金子一郎 3、三宅康史 3、森村尚登 3

1. 帝京大学医学部附属病院安全管理部

2. 帝京大学医学部総合診療科

3. 帝京大学医学部救急医学講座

15:31-15:45 (PD01-09)

Effect of difference between WAI (work-as-imagined) and WAD (work-as-done) on resilience

-Inspect ion using RAG (Resilience Assessment Grid)

WAI (work-as-imagined) と WAD (work-as-done) の相違がレジリエンスに与える影響

-RAG (Resilience Assessment Grid) を用いた検証-

岩尾誠也 1, 河内正治 2

1. MSPO 医療安全高等教育院

2. 帝京大学医学部附属病院安全管理部

(PD02) Clinical Risk and Safety

臨床リスクと安全

3月17日午前、A会場

座長 Amélia Filomena Oliveira Mendes Castilho 教授 (Nursing School of Coimbra (ESEnfC), ポルトガル)  
浜本康夫准教授 (慶応大学医学部)

10:31-11:00 (PD02-01)

**Injuries in Healthcare Workers during Patient Handling**

医療従事者が患者を扱う際の負傷

Rammohan Maikala, PhD, ASP

Subject Matter Expert – Program Technical Consultant, 国家安全評議会, Itasca, イリノイ州, 米国。

11:01-11:15 (PD02-02)

**Eight key structures of cardiovascular surgical teams required for patient safety and work style reform**

患者安全と働き方改革に求められる心臓血管外科チームの8つの構造

Oda Katsuhiko, Takahashi Makoto, Itagaki Kota, Akanuma Rina, Hasegawa Takahiko, Kawatsu Satoshi

Department of Cardiovascular Surgery, 岩手県立中央病院

11:16-11:30 (PD02-03)

**The expectancy of stillbirth among inpatients of our department**

当科入院患者における死産の予期

Maya Takamoto<sup>1,2</sup>), Hajime Oishi<sup>2</sup>), Hideyo Miyazaki<sup>1</sup>)

1) 医療安全とリスク管理部 2) 産婦人、国立国際医療センター、東京

11:31-11:45 (PD02-04)

**Relationship between accidents in nursing homes and staff movement records using a tag monitoring system and the call-bell records**

ナーシング・ホームにおける事故と呼びだしベル並びにタグモニターシステムによるスタッフの移動記録の関連性について

Hiyama Akiko

札幌市立大学

11:45-12:00 (PD02-05)

**Launch and operation of the Rapid Response System (RRS) at our hospital,**

**-Its current status and challenges-**

当病院での RRS の導入 – 現状と課題

Hisato Ikeda<sup>1,2</sup>), Daisuke Shinohara<sup>1,4</sup>), Minoru Endo<sup>1,4</sup>), Jun Sasaki<sup>1,3</sup>)

- 1) Department of Hospital Qualitative management, Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京
- 2) Department of Neurosurgery, Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京
- 3) Department of Emergency center, Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京
- 4) Department of nursing, Showa university Koto Toyosu Hospital, J 東京

つづく

つづき

(PD02) Clinical Risk and Safety  
臨床リスクと安全

3月17日午前、A会場

座長 Amélia Filomena Oliveira Mendes Castilho 教授 (Nursing School of Coimbra (ESEnfC), ポルトガル)  
浜本康夫准教授 (慶応大学医学部)

12:01-12:15 (PD02-06)

**Our emergency response system to in-hospital stroke cases**

入院中の脳卒中に対する私たちの救急対応

Hisato Ikeda<sup>1)</sup>, Akira Wada<sup>1)</sup>, Shohei Nomoto<sup>2)</sup>, Ayako Kuriki<sup>2)</sup>

- 1) Department of Neurosurgery, The center of cerebrovascular disease, Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京
- 2) Department of Neurology, The center of cerebrovascular disease, Showa university Kotoh Toyosu Hospital, 東京

(PD03) Education of Patient Safety and Medical Personnel Safety

患者安全および医療者安全のための教育

3月17日午前、C会場

座長: 藤田真幸教授(慶應義塾大学病院医学部)

井上都之准教授(岩手県立医科大学)

10:40-10:45 (PD03-01)

**Enhancing patient clinical safety through training in the pharmacovigilance management: an educational experience in Central America and the Caribbean**

医薬品安全性監視管理の訓練による患者臨床安全の強化： 中央アメリカとカリブ海諸国における教育経験。

Tatiana Cruz González

University of Costa Rica, San José, コスタリカ

10:46-11:00 (PD03-02)

**Self-assessment of NTS related to medical safety upon graduation of nursing students**

看護大学院生の医療安全に関する NTS の自己評価

二口尚美、Misako Kinoshita, Sigenori Sasaki

仙台青葉学院、仙台

11:01-11:15 (PD03-03)

**40 years of the National Drug Information Center serving Costa Rica's health**

国家医薬品情報センターの40年間にわたるコスタリカの健康支援

Acosta María Laura, Cruz-González Tatiana, Fernández-Jiménez Alejandra, Hall-Ramírez Victoria, Hidalgo-Rivera Mónica, Kenton-Paniagua Karen, Pereira-Céspedes Alfonso, Rocha-Palma Milania, Villalobos-Rojas Sebastián

Centro Nacional de Información de Medicamentos (CIMED), Instituto de Investigaciones Farmacéuticas (INIFAR), Facultad de Farmacia, Universidad de Costa Rica、コスタリカ

11:46-12:00 (PD03-04)

**The need for BLS training from the perspective of medical students**

医療系学生の視点から見た BLS 講習の必要性について

迫田典子, 大西真裕, 池田尚人

東京医療学院大学

(PD04) e-Health and Healthcare Safety Promotion

e-ヘルスと医療機関の安全推進

3月16日午後、D会場

座長: 大谷壽一教授 (慶応義塾大学医学部)

15:46-16:00 (PD04-01)

**Considerations for Selecting, Using and Evaluating Healthcare-based AI in an Unregulated World**

規制のない世界でヘルスケアベースのAIを選択、使用、評価するための考察

Hester, Amy

ナース, LLC, アーカンソー州、米国

16:01-16:15 (PD04-02)

**Application of Artificial Intelligence for Hypotension Prediction During Hemodialysis**

血液透析中の低血圧予測への人工知能の応用

Yun Lu, Haoyu Chen, Juiding Yang, Prof. Di Niu

Ark Health Solution Ltd. 上海、中国

(PD05) Novel Simulation-based Education of Medical Crisis Management;  
Post-Accidental Response Management (PARM)

医療危機管理シミュレーション教育: 事故後病変の管理

3月16日午後、E会場

13:30-15:00 (PD05-01~03)



オルガナイザー: 永山正雄

(MSPO 国際理事, IARMM 評議員。国際医療福祉大学神経内科教授)

2015年より、医療過誤・医療事故発生後の適切な対応教育の必要性を繰り返し訴えてきました。2016年、医療危機管理・安全管理の新たな教育として、Post-Accidental Response Management (PARM) 教育を開発した。PARM 教育は、悪いチームワークの動画を活用したシミュレーション教育であり、「迅速性」、「早期対応」、「チーム内の役割分担と連携」、「記録と資料証明」の4領域からなる PARM 評価シートにより受講者の対応を測定する。日本でも PARM 教育は浸透しつつある。

本パネルディスカッションでは、この PARM 教育の概念と実践について、シミュレーションを用いた複合領域教育を含めて紹介する。

(PD05-01) Masao NAGAYAMA (国際医療福祉大学神経内科)

(PD05-02) Yukie IGARASHI (国際医療福祉大学熱海病院看護部)

(PD05-03) Eisei Hoshiyama (獨協医科大学救急部)

## (PD06) Communication Error and the Prevention

医療安全とコミュニケーション

3月17日午後、E会場

13:30-15:00 (PD06-01～03)



オルガナイザー：井手口直子

(医療安全心理・行動学会理事、帝京平成大学薬学部コミュニケーション学教授)

患者安全の要はヒューマンエラーの防止にある。そしてヒューマンエラーが起きる仕組みはコミュニケーションエラーに起因するものが多い。ヒューマンエラーの防止には、伝達の省略や誤伝達からくる認知バイアスに気付き、対処するメタ認知を強化することが重要である。今回は医療従事者のメタ認知を高めるための薬剤情報やチーム医療の在り方を多職種で議論する。

### (PD06-01) 薬剤エラー防止のためのチームコミュニケーション

近藤匡慶、高瀬久光 (日本医科大学多摩永山薬剤部)

### (PD06-02) 医療事故を生むコミュニケーション・防ぐコミュニケーション、出来ることと出来ないこと

辰巳陽一 (近畿大学病院 安全管理センター 医療安全対策部)

### (PD06-03) 薬剤に関するヒューマンエラーとコミュニケーション

井手口直子 (帝京平成大学薬学部コミュニケーション学)

## (PD07) Community Network of Medication Safety

医薬品適正使用の地域ネットワーク

3月16日午後、E会場

15:10-16:50 (PD07-01~03)



オルガナイザー：鈴木高弘  
(医療安全心理・行動学会理事、横浜薬科大学薬学部)

日本の医療環境は急速に変化しており、特に地域医療において医薬品安全管理の重要性が増しています。このパネルディスカッションでは、異なる立場からの視点を交えながら、日本の地域医療における医薬品安全管理の現状と課題に焦点を当てます。

### 企画説明

鈴木高弘 (横浜薬科大学 薬学部)

(PD07-01) 中小病院と薬局の連携について (仮題) 樋島学 (総合川崎臨港病院 薬剤部)  
地域医療支援病院など限られたリソース下での医薬品安全管理の実践と連携など

(PD07-02) 抗菌薬の適正使用について (仮題) 望月敬浩 (静岡県立静岡がんセンターRMQC 室)  
抗菌薬の適正使用の促進と、感染症管理の観点から見た医薬品安全など

(PD07-03) 医薬品安全性管理におけるフォーミュラーの役割 -地域フォーミュラーの活用  
安藤 正純 (新座病院薬剤部)  
医薬品フォーミュラーの重要性と、地域のニーズに適応した医薬品提供など

(PD07-04) 次世代の医薬品安全管理について IT を活用した医薬品安全管理の現状と課題  
大山実 (株式会社ワイズマン 商品企画本部 戦略担当部長 ストラテジー・スペシャリスト)  
IT を活用した医薬品安全管理の現状と課題

(OPG08) Risk Management of Infectious Disease

感染症のリスクマネジメント

3月16日午後、D会場

座長 河内正治 教授(帝京大学医学部医療安全管理部)

16:20-16:35 (PD08-01)

**Intranasal Decontamination For the Protection of Patients and Healthcare Workers: Utility of a Novel Device for use in Clinical Settings**

患者と医療従事者を守るための経鼻汚染除去：臨床現場における新規デバイスの有用性

Charley Grove, Charley Grove, George Hermann, Michael Drews, Krizia Jurczyk, David Kahane  
オタゴ大学、ニュージーランド・シリコンバレーイノベーション、ニュージーランド

16:36-16:50 (PD08-02)

**Prediction of COVID-19 Occurrence Using CO2 Sensor**

CO2 センサーを用いた COVID-19 発生予測について

中山晴雄, 松岡千賀子, 小玉健太郎, 中澤愛紗, 太田登志子, 伊藤志昂, 松瀬厚人, 岩渕聡  
東邦大学医療センター大橋病院

## ポスター示説 (01)

3月16日 B会場

ポスター討論: 12:30～13:30

(座長) 百賢二, 昭和大学

Victoria Klemm (RheinMain UAS, ドイツ)

(PP01-01)

**Improve adherence of health professionals to the use of the surgical safety checklist: opportunities and challenges**

外科安全チェックリストの使用に対する医療従事者の厳守改善：機会と挑戦

Amélia Filomena Oliveira Mendes Castilho; Isabel Melo,  
Nursing School of Coimbra, ポルトガル

(PP01-02)

**Understanding Schizophrenia – A Path to Balance**

統合失調症を理解する - バランスへの道

Cândida Loureiro, Paulo Pereira, Jorge Façanha  
Nursing School of Coimbra, ポルトガル

(PP01-03)

**Enhancing Healthcare Dispute Prevention and Communication Strategies: Comprehensive Training for Professionals in Taiwan**

医療紛争予防とコミュニケーション戦略の強化：台湾における専門家のための総合トレーニング

Tzu-Chieh Weng, Ya-Ling Lai, Ya-Wen Tsai, Wen-Hsin Hu, Ya-Ting Ke, Che-Kim Tan,  
Hung-Jung Lin, Shih-Chun Ho  
Chi-Mei Medical Center, 台湾

(PP01-04)

**Improving Safety in Blood Pressure Readings and Analysis**

血圧測定と分析における安全の改善

Simran Lakhani, Dr Fariah Khan, Nadia Awan  
Univ. Barts and the London, 英国

(PP01-05)

**Second Victims in German-speaking Countries: Results of the SeViD-Studies**

ドイツ語圏における第二の被害者：SeViD研究の成果

Victoria Klemm, Reinhard Strametz  
RheinMain UAS, ドイツ

(PP01-06)

**Cultivating Proactive Communication to Manage Unexpected Medical Outcomes:  
Integrating the Three Stages of Memory Process into Training for Healthcare Professionals**

予期せぬ医療結果を管理するための積極的なコミュニケーションの育成：記憶プロセスの3段階を医療従事者のトレーニングに組み込む

Ya-Wen Tsai, Ya-Ling Lai, Wen-Hsin Hu, Ya-Ting Ke, Che-Kim Tan, Hung-Jung Lin,  
Shih-Chun Ho

Chi-Mei Medical Center, 台湾

(PP01-07)

**Literature review on communication skills of cancer peer supporters**

がんピアサポーターのコミュニケーション・スキルに関する文献検討

元井好美

兵庫大学看護学、関西医療大学保健看護学部

(PP01-08)

**Systematic review: Effective KYT (Kiken Yochi Training) for healthcare personnel**

医療従事者に対する効果的なKYT(危険予知訓練)に関する文献研究

Mikiko Kamiya<sup>1)</sup> Fujimoto Kozo<sup>2)</sup>

1)Setsunan University, Osaka, 2)Kyoto Tachibana University, Japan

(PP01-09)

**Analysis of Motivation for Healthcare Safety in Multiple Small and Medium-Sized Hospitals**

中小規模病院における医療安全に対する動機の分析

Kazuhisa Shimmura (EUCALIA Inc.), Manami Sato (EUCALIA Inc.), Ayako Sekiguchi (Kawaguchi Kogyo General Hospital), Sanae Matsumoto (Kanamachi Central Hospital), Keiko Koike (Zenshukai Hospital), 日本

(PP01-10)

**The importance of anisocoria as an assessment point in ICU management**

ICU管理における診断不一致の重要性

Yuta Kooguchi<sup>1),3)</sup>, Hisato Ikeda<sup>2)</sup>, Akira Wada<sup>2)</sup>, Shohei Nomoto<sup>3)</sup>,  
Ayako Kuriki<sup>3)</sup>

1) Medical intern in Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京

2) Department of Neurosurgery, The center of cerebrovascular disease,  
Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京

3) Department of Neurology, The center of cerebrovascular disease,  
Showa university Koto Toyosu Hospital, 東京

## ポスター示説 (02)

3月17日 B会場

ポスター討論: 12:30～13:30

(座長) 橋本 真由美、福島県立医科大学

(PP02-01)

**A feasibility study: The impact of mental health programs to enhance flood survivors' mental health literacy and coping self-efficacy in Hulu Langat, Selangor and Karak, Pahang**

実現可能性研究: セランゴール州 Hulu Langat とパハン州 Karak における洪水被災者のメンタルヘルスリテラシーと対処自己効力感を高めるメンタルヘルスプログラムの影響

Sue Kiat Tye, Nik Muhammad Amirul Adli Nik Mohd Sidek, Aina Izzati Muslan, Han Lin Cheah, Azri Zaini, Azlina Wati Nikmat, Abdul Rahman Ahmad Badayai

Mercy Malaysia、マレーシア

(PP02-02)

**Report on the planning of events at the hospital during Medical Safety Promotion Week: Awards for outstanding medical safety activities**

医療安全推進週間における当院でのイベント企画の報告: 優れた医療安全活動への表彰

遠藤純男、笹館香穂里

大和徳洲会病院

(PP02-03)

**The Impact of Introducing a Personal Digital Assistant System by Pharmacy Technicians on Dispensing Safety and Task Shifting in the Pharmacy Department**

薬剤師による個人デジタル支援システム導入が調剤の安全性と薬剤部のタスクシフトに与える影響について

百賢二, Hidehiro Noda, Hiroshi Shimamura, Katsumi Tanaka

昭和大学薬学部・病院薬剤部

(PP02-04)

**Fostering Positive Team Culture: Implementation and Impact of JOY IN TEAMWORK Caring Message Platform in Healthcare**

ポジティブなチーム文化の醸成: 医療における JOY IN TEAMWORK ケアリング・メッセージ・プラットフォームの導入と影響

Shih-Chun Ho, Ya-Ling Lai, Shu-Lien Chou, Wan-Ting Hsieh, Hung-Jung Lin, Che-Kim Tan  
Chi-Mei Medical Center, 台湾

(PP02-05)

**Adjustment strategies promoting acceptance of the health state - An integrative literature review**

健康状態の受容を促進する適応戦略 - 統合的文献レビュー

Cândida Loureiro, Ana Esteves, Andreia Antunes

Nursing School of Coimbra, ポルトガル

(PP02-06)

**The utility of Nursing Activities Score (NAS) in assessing the workload of nurses in Level III Intensive Care Units**

レベル III 集中治療室における看護師の業務量評価における看護活動スコア (NAS) の有用性

Amélia Mendes Castilho, Tiago Loureiro,

Nursing School of Coimbra, ポルトガル

(PP02-07)

**A study on the effect of long-term facial massage intervention reducing occupational stress of nurses**

顔マッサージ長期介入による看護師の職業性ストレス軽減効果に関する研究

Ohkawa Yuriko, Sakashita Emiko, Nishida Kayo

宮崎大学医学部看護学科

(PP02-08)

**Systematic review: Effective KYT (Kiken Yochi Training) for patients**

文献レビュー: 患者に対する効果的な KYT

Fujimoto Kozo, Kamiya Mikiko

Kyoto Tachibana University, Kyoto, Japan

(PP02-09)

**The impact of self-endangering work behavior on occupational injuries among Japanese workers in small- and medium-sized businesses during the COVID-19 pandemic**

自己を危険にさらす働き方は健康状態に関わらずコロナ禍の日本の中小企業労働者の労災リスクを高める

井上由貴子, 中田光紀, 菊永一輝, 頓所つく実, 田村拓之

産業医科大学 IR 推進センター

(PP02-010)

**Peer Support Management in Cancer Patient Associations**

がん患者会におけるピア・サポートマネジメント

元井好美

兵庫大学看護



## LABTECH Holter System

**LABTECH**



Twelve-channel, full disclosure Holter System without PC and printer. With Labtech EC-12H Holter ECG system you can make 2, 3 or 12 channel recordings depending on the recorder and patient cable type being used. The Cardiospy analysis software provides ECG records of excellent quality.

**ITOMEDICS CO.,LTD.**

15-9 Nizakamachi, Aoba-ku, Sendai 981-0934 Japan  
Phone :+81-22-274-0711  
FAX :+81-22-274-5281



**国際医療リスクマネジメント学会**

International Association of Risk Management in Medicine

**(IARMM)**

**<http://www.iarmm.org/J/>**

**2002年スイスにて設立**

-----  
国際医療リスクマネジメント学会  
(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102  
(TEL) 03-3817-6770 (FAX) 03-6801-6987  
(email) [manager@iarmm.org](mailto:manager@iarmm.org)  
-----

すべての著作権は IARMM に帰属します。